

外 国 語

1年	英語コミュニケーション I
1年	論理・表現 I
1年	higashino special(HEIM&HEOM)
2年	Communication英語 II
2年	英語演習
2年	英語表現 II
2年	higashino special(HEIM&HEOM)
2年	英検Interview Test Practice
2年	英文読解入門
3年	Communication英語 III
3年	英語表現 II
3年	英語演習
3年	higashino special(HEIM&HEOM)
3年	時事英語
3年	受験英語
3年	学び直しの英語 III
3年	英文読解
3年	英語入試対策
3年	文法・語彙講座 III

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
1年生 特進コースクラス	外国語	英語コミュニケーションⅠ	必修 4単位	増岡立晃・ティファニー
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅠ」		副教材	アルク「ユメタン1」 アルク「ユメジユク」
授業のねらい	①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。			
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②復習は音源を使って行います。読み込んだ文章を多聴、音読しましょう。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。			
評価方法	年5回の定期試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson1 Behind Kumamon	・「くまモン」とは、どんなキャラクターなのかを理解させる ・受け身、to不定詞、動名詞の表現を理解させる	
	5月	Lesson2 Hacking Your Brain	・“in the zone”とは、どういったことなのかを読み取らせる ・進行形、間接疑問、分詞の表現を理解させる	
	6月	Lesson3 It's Always Sunny in Space	・SSPS計画とは、どのような計画かを理解させる ・助動詞、名詞＋分詞句、現在完了の表現を理解させる	
	7月	Lesson4 Malala: Fighting for Women's Rights	・マララの故郷で起きた出来事について理解させる ・関係代名詞、過去完了、関係代名詞whatの表現を理解させる	
2 学 期	9月	Lesson5 Mount Fuji	・富士山へ登るのは、どのような歴史的な背景があったかを読み取らせる ・同格that、原形不定詞、形式主語itの表現を理解させる	
	10月	Lesson6 Donald Keene and His Love of Japan	・キーンと日本文学との出会いについて読み取らせる ・強調構文、受け身の進行形、付帯状況の表現を理解させる	
	11月	Lesson7 Virtual Water	・日本が仮想水を多く使用しているその背景を理解させる ・関係代名詞の非制限用法、関係副詞の表現を理解させる	
	12月	Lesson8 Wearable Robots May Change Our Life	・日本の出生率が低下することで、どのような問題が起こりうるか考えさせる ・仮定法過去、仮定法過去完了、関係副詞の表現を理解させる	
3 学 期	1月	Lesson9 Biomimicry-Inspired by Nature	・「バイオミクリー」とは何かを読み取らせる ・SVOC(分詞)、分詞構文の表現を理解させる	
	2月	Lesson10 "His Holiness the 14th Dalai Lama"	・ダライ・ラマ14世は世界でどのように知られているか読み取らせる ・部分否定、複合関係代名詞の表現を理解させる	
	3月	Reading1	総まとめ	

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
1年生 特進コースSクラス	外国語	英語コミュニケーション I	必修 4単位	神林慶・ティファニー
教科書	開隆堂 「Ambition English Communication I」		副教材	アルク「ユメタン1」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic」
授業のねらい	① 単語・熟語、および文法・構文の学習を通じ、英文読解の基礎力を身に着ける。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に着け、教養を深める足掛かりとする。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。			
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。			
評価方法	年5回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson1 For Better Communication	・エッセイの読解/賢く考える/計画する 【基本5文型/不定詞/助動詞①/動名詞】	
	5月	Lesson2 Want a Pet? How about a Capybara?	・対話の理解/口語表現を学ぶ/利点と欠点を比べる 【助動詞②/SVO+動詞の原形/It is ~ (for...) +不定詞】	
	6月	Lesson3 Grace Darling	・文学の読解/文章表現に慣れる/意思決定をする 【関係代名詞/分詞/付帯状況のwith/仮目的語it】	
	7月	Lesson4 Soccer and Foreign Languages	・報道文の読解/海外で働くために/有利・不利を考える 【現在[過去]完了/現在完了進行形/関係詞の非制限用法】	
2 学 期	9月	Lesson5 Raising Awareness of Disadvantaged People	・障がいを持つ人々への理解を広げる/慈善活動に関わる 【助動詞+受け身/関係副詞/SV+C(分詞)】	
	10月	Lesson6 Problems Behind Self-Driving Cars	・思考実験/論理的に考える/意見を述べる 【SVO+不定詞/仮定法過去/助動詞③】	
	11月	Lesson7 An Inspiring Figure in Modern Japan	・伝記の読解/固定観念を破る/環境保護運動への参加 【倒置/S seem +不定詞/It seems that節/無生物主語】	
	12月	Lesson8 A New Symbol of Singapore	・シンガポールを発見する/環境問題を意識する 【分詞構文】	
3 学 期	1月	Lesson9 Reaching for New Rocks	・科学的な文章の読解/助言を与える 【比較級による最上級表現/if, whether節/仮定法過去完了】	
	2月	Lesson10 The Power of a Woman's Will to Make Changes	・男女間の格差問題/恵まれない人々を助ける/反論する 【比較級 and 比較級/not以外の否定を表す副詞】	
	3月	まとめ	学習内容の総復習	

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
1年生 進学コースAクラス	外国語	英語コミュニケーション I	必修 4単位	CHAN・増岡立晃 関京太・安藤綾汰 J. Safo
教科書	Ambition English Communication I		副教材	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION WORKBOOK」 桐原書店「Data Base 3000 5th Edition」 桐原書店「Data Base 3000 5th Edition 書いて覚える英単語ノート」
授業のねらい	日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができること。聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。			
学習上の留意点	言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えること。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。			
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度等を総合的に評価する。また、外国人の先生の週1時間の授業(OC)の取り組み、テスト点なども加味して評価をつける。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson 1 The Amazing Scenery	世界各地にある未知の風景や文化にふれ、自然の大切さや環境の保全に寄与する態度を養う。 英語の構文(SV SVC SVO SVOO SVOC)	
	5月	Lesson 2 The Mysterious History of Chocolate	チョコレートの歴史から世界と日本の食文化にふれることで幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を養う。 英語の構文[SVO (that節)]比較[比較級]、比較[最上級、as～as]	
	6月	Lesson 3 The Secrets of Top Athletes	アメリカのスポーツに対する考え方にふれ、日本との相違について理解を深めること。個人の価値を尊重して、自主及び自律の精神を養う。 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形	
	7月	Lesson 4 Evolving Airplanes	航空機の歴史や航空機の発展を支える環境にふれることで、幅広い知識と教養を身に付ける。 助動詞、受動態、助動詞＋受動態	
2 学 期	9月	Lesson 5 The Symbol of Peace	アフリカのコンゴ共和国及びコンゴ民主共和国の歴史と衣服に対する考え方や彼らの反戦に対する思いにふれ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 動名詞、不定詞、形式主語	
	10月	Lesson 6 Serendipity	ふとした偶然をきっかけに予想外のものを見出す「セレンディピティ」についてふれ、身近にあるものでセレンディピティが生まれる一例を知ることで幅広い知識と教養を身に付ける 分詞の後置修飾、知覚動詞、使役動詞	
	11月	Lesson 7 The Secrets Hidden in Vermeer's Works	オランダの芸術家フェルメールの作品や彼の作品が多くの人を魅了しつづけている秘密にふれ、公共の精神に基づき社会の発展に寄与する態度を養える。 関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞(所有格)	
	12月	Lesson 8 Endangered Species in the World	絶滅の危機に瀕している野生動物についての現状と、その保護方法にふれ、自然環境や生態系に果たしている様々な役割を理解する。 前置詞＋関係代名詞、関係副詞、関係代名詞と関係副詞の非制限用法	
3 学 期	1月	Lesson 9 The Dream of Special Makeup	映画などで施される特殊メイクについて、その目的やメイクの方法について、世界で活躍しているある特殊メイクアップアーティストの生き方や考え方にふれること。 条件を表す副詞節、仮定法過去、I wish＋仮定法過去、as if＋仮定法過去	
	2月	Lesson 10 Purifying Powder	阪神淡路大震災を経験したことにより、水の大切さを痛感したある日本人が困っている途上国を救うための行動についてふれ、幅広い知識と教養を身に付ける。 関係代名詞what、強調構文、分詞構文、SVOO(how to～)	
	3月	Reading tupera tupera	大人の間でも絵本の人気がある理由や、最も好きな絵本などについて、やり取りする。 書かれた内容について、書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりする技能を身に付けている。	

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コース1クラス		外国語	論理・表現 I	必修	2単位	古市勲介
教科書	増進堂「MAINSTREAM English Logic and Expression I」		副教材	アルク「ユメタン1」「ユメタンジユク」		
授業のねらい	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を伸ばすとともに、この能力を活用して主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。					
学習上の留意点	気持ちを伝えあうことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかを評価するので、積極的な姿勢で授業に参加すること。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	lesson.1 lesson.2	文の要素について理解し、英語で自己紹介の文が書ける 現在形の性質を理解し、好きな音楽について英語で書ける			
	5月	lesson.3	過去形の性質を理解し、大切なものについて英語で話せる			
	6月	lesson.4 lesson.5	未来を表す表現を学び、週末の予定を英語で話せる 進行形の働きを理解し、クラブ活動について英語で話せる			
	7月	lesson.6	現在完了形を理解し、クラブ活動について英語で話せる			
2 学 期	9月	lesson.7 lesson.8	過去完了形を理解し、夏休みの計画について英語で話せる 動名詞を理解し、学校行事について英語で話せる			
	10月	lesson.9	不定詞を理解し、けがや病気、健康について英語で話せる			
	11月	lesson.10 lesson.11	分詞を理解し、おすすめの場所について英語で話せる 比較を理解し、夏と冬のどちらがよいかについて英語で話せる			
	12月	lesson.12	助動詞を理解し、本物の犬とロボットの犬のどちらがよいかについて英語で話せる			
3 学 期	1月	lesson.13 lesson.14	受け身を理解し、書道を選択科目にすべきか英語で話せる 仮定法を理解し、おすすめ本について英語でレビューを書ける			
	2月	lesson.15 lesson.16	関係代名詞を理解し、ボランティアについて書ける 接続詞を理解し、外国人におすすめの日本食を紹介する			
	3月	lesson.17	否定の働きを理解し、ゴミ削減について書ける			

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
1年生 特進コースSクラス	外国語	論理・表現 I	必修 3単位	神林慶
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression I Advanced」		副教材	アルク「ユメタン1」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic」
授業のねらい	① 教科書の英文の暗記に終始せず、多様な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。			
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。			
評価方法	年5回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson1 I want to introduce my new friend.	・応答する/理由を述べる 【文の種類】	
	5月	Lesson2 How about joining our group?	・賛成・反対する/聞き直す 【文型と動詞】	
	6月	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend.	・激励する・励ます/計画する・予定する 【時制】	
	7月	Lesson4 Have you ever tried it before?	・経験を尋ねる/初めての経験を述べる 【完了形】	
2 学 期	9月	Lesson5 What do you want to do after high school?	・許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する 【助動詞】	
	10月	Lesson6 Did you hear about the new shop?	・原因・影響を表す/喜び・驚きを表す 【受動態】	
	11月	Lesson7 I'm happy to have you with us. Lesson8 What sport do you like playing?	・感謝する/謝罪する/弁解する 【不定詞】 ・誘う・申し出る/推薦する 【動名詞】	
	12月	Lesson9 Digital media has come a long way.	・描写する/判断の根拠を述べる 【分詞】	
3 学 期	1月	Lesson10 That's why I decided to go back.	・定義する/言い換える/経緯を説明する 【関係詞】	
	2月	Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	・提案する/称賛する 【比較】	
	3月	Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive.	・助言を求める・助言する/願望を表す 【仮定法】	

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現 I	必修	3単位	関・CHAN・安藤 ティファニー・Kate 藤田
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard」		副教材	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard WorkBook」 啓林館「3rd Edition 総合英語 Vision Quest」		
授業のねらい	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習上の留意点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を高める。 ②身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝える。 ③言語の運用に関する基礎的な知識を身につけるとともに、背景にある異文化への理解を深める。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。					
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Lesson 1.2 (文の種類/文型と動詞)	クラブ活動をクラスに紹介することができる。			
	5月		文化祭についてパートナーと話し合うことができる。			
	6月	Lesson 3.4 (時制/完了形)	旅行の経験をクラスに話すことができる。			
	7月		スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。			
2 学 期	9月	Lesson 5.6.7 (助動詞/受動態/不定詞)	パートナーに将来の夢を語るすることができる。			
	10月		買い物について質問したり、答えたりすることができる。 贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。			
	11月	Lesson 8.9.10 (動名詞/分詞/関係詞)	スポーツをすることの利点について発表することができる。			
	12月		自分自身や性格について発表することができる。 日本の文化や日本人たちについて発表することができる。			
3 学 期	1月	Lesson 11.12 (比較/仮定法)	国際問題について自分の考えを示すことができる。			
	2月		日本の社会問題についてクラスに自分の意見を示すことができる。			
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	増岡立晃・榎本昶彰
教科書	東野オリジナル教科書		副教材	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Lesson.1 Lesson.2		Introduction オリジナル授業のスタイルに慣れる 第1文型		
	5月	Lesson.3 Lesson.4		第2文型(1) 第2文型(2)		
		Lesson.5 Lesson.6		Review 第3文型(1)		
	7月	Lesson.7 Lesson.8・Lesson.9・Lesson.10		第3文型(2)・第4文型 第5文型・Review・Test		
2 学 期		9月	Lesson.11 Lesson.12		受動態(1) 受動態(2)	
	10月		Lesson.13 Lesson.14		現在完了形(1) 現在完了形(2)	
		11月	Lesson.15 Lesson.16		現在完了形(3) Review	
	12月		Lesson.17 Lesson.18		形容詞と副詞 比較(1)	
3 学 期		1月	Lesson.19 Lesson.20		比較(2) 比較(3)	
	2月		Lesson.21・Lesson.22 Lesson.23		Review・Test 数の表現	
		3月	Lesson.24・Lesson.25 Lesson.26・Lesson.27		不定詞と動名詞 Review・Test	

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースIクラス		外国語	Communication英語Ⅱ	必修 4単位	榎本 昶彰・Kate
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅡ」		副教材	旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」 アルク「ユメタン2」	
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。				
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験授業内で 行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画		単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson1 Japanese Cherry Blossoms	動名詞の意味上の主語 同格(名詞+名詞) 完了形+受け身		
	5月	Lesson2 Pursuit of Dreams	助動詞+完了形 不定詞の否定形		
	6月	Lesson3 A Small Grain with a Big Impact	無生物主語構文 不定詞+完了形 助動詞+受け身		
	7月	Lesson4 Sea Turtles	as if S+V 疑問詞+to do 未来進行形		
2 学 期	9月	Lesson5 Running a Business for the Poor	二重否定 thereを用いた表現		
	10月	Lesson6 The Living Library	過去完了進行形 分詞構文の否定 結果を表す不定詞 挿入		
	11月	Lesson7 More than just Shelters	現在完了進行形 be to		
	12月	Lesson8 Artificial Intelligence	If S were to V, S would 完了形の分詞構文 未来完了形 仮定法現在		
3 学 期	1月	Lesson9 Sapeur	独立分詞構文		
	2月	Lesson10 Larry Page and the Dream of Google	倒置 完了形の分詞構文の受け身		
	3月	Reading1	いろいろな表現		

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースSクラス	外国語	Communication英語Ⅱ	必修 4単位	藤田蒼・Kate
教科書	数研出版「Revised BIG DIPPER English communicationⅡ」		副教材	アルク「ユメタン1」「ユメタン2」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic」
授業のねらい	① 新出の単語・熟語・文法、および基本的な英文構造を学習する。 ② 細かく構造分析をしなくても、英文を読み進められるようになる。 ③ 全文を読んだ後、文章全体の流れ・要旨を英語で説明できるようにする。			
学習上の留意点	① 復習を必ず行うこと。授業に参加するだけでは、英語は伸びません。 ② 多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。			
評価方法	年5回の定期考査、授業内で行う小テスト、授業態度などを総合的に評価する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson1. Washoku Around the World	現在完了と過去完了、受動態、SVC	
	5月	Lesson2. Chirori, the First Therapy Dog in Japan	SV+wh-節、SVO+that節、関係代名詞	
	6月	Lesson3. How Good Is Your Memory?	不定詞、関係代名詞の継続用法、 関係代名詞what、関係副詞	
	7月	Lesson4. Space Elevator	仮定法過去、関係副詞whereの継続用法、 未来進行形	
2 学 期	9月	Lesson5. Diversity Brings New Product	動名詞の意味上の主語、関係代名詞の継続用法、 助動詞+ have 過去分詞、完了不定詞	
	10月	Lesson6. Ueno Takahiro: The Dancer in Me	SVO + 過去分詞、仮定法過去完了、 分詞構文、受動態の分詞構文	
	11月	Lesson7. The France Okaeshi Project	仮定法 (as if, were to + 原形、if節に代わる表現)	
	12月	Lesson8. What Is the True Meaning of Mottainai	進行形の受動態、省略、形式目的語、完了進行形	
3 学 期	1月	Lesson9. Fair Play in Sports: What Is "Fair"?	同格のof, that、複合関係詞、倒置、 関係副詞whenの継続用法	
	2月	Lesson10. Floating Education	未来完了、SV + that節、無生物主語	
	3月			

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス	外国語	Communication英語Ⅱ	必修 4単位	松浦隆・川鍋良信 増岡立晃・藤田蒼 Kate・ティファニー
教科書	東京書籍「Power On English CommunicationⅡ」		副教材	東京書籍「Power On English CommunicationⅡ」 Workbook / Study Note
授業のねらい	読む・書く・聞く・話すの4技能を総合的に伸ばすための素地を作る。			
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを実践するため、積極的・主体的に授業に参加してください。英検合格に向け、毎時間5分程度の英検対策を行う。			
評価方法	年5回の定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson 1 Take a Shot or Not	形容詞 + that節 / 関係代名詞 what / 現在完了進行形 助動詞 + 受け身 / 強調構文 / S V + O [=疑問詞 + to 不定詞]	
	5月	Lesson 2 Ethical Fashion	関係副詞 where / 過去完了形 / S V [=使役動詞] + O + C [原形不定詞]	
	6月	Lesson 3 Landfill Harmonic	関係代名詞 非制限用法 / S V [=知覚動詞] + O + C [=現在分詞] /	
	7月	Lesson 4 Icons of Scotland	S + appear(s) [seem(s)] + to 不定詞 分詞構文(過去分詞) / 倍数表現 /	
2 学 期	9月	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	直前の文の内容を先行詞とする which / 形式目的語 it [= to 不定詞]	
	10月	Lesson 6 Vegetable Factories	進行形受け身 / it appear(s) [seem(s)] + that節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞節	
	11月	Lesson 7 The Power of Color	同格を表す接続詞 that節 / 前置詞 + 関係代名詞 / 関係代名詞 whose の制限用法 /	
	12月	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly and Tough Competitors	proposeなど + that + S V [=動詞の原形] 付帯状況を表す with / while [when] (+ S + be動詞) /	
3 学 期	1月	Lesson 9 From Owing to	to + have + 過去分詞 / 助動詞 + have + 過去分詞 強調表現(助動詞による強調) / It is [was] said + that節 /	
	2月	Lesson 10 Solar Cooking	形式目的語 it [=that節] / 過去完了進行形 be動詞 + to 不定詞 / wish + 仮定法過去 /	
	3月		関係副詞 where 非制限用法 / 関係副詞 when 非制限用法	

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス文系		外国語	英語演習	選択必修	2単位	藤田蒼
教科書	自主教材		副教材	アルク「ユメタン1」「ユメタン2」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic」		
授業のねらい	5行程度の中文読解を通して、既習の単語・文法知識を使って、英文を読む力を身に付ける。初見の英文や複雑な英文にも応用できる、「読み方のパターン」を確立する。					
学習上の留意点	中文読解を徹底的に行うことで長文に対する対策や短文読解で培った知識を発展させる。また、予習で分からない点を見つけ、授業で理解し、復習で学習事項を定着させる。予習の段階で、文法書・辞書を徹底的に使い、分からない部分を明確にしておくことが重要です。					
評価方法	授業内の単語テスト、各学期末の評価テスト、日々の授業態度などを総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	第1章	名詞を修飾する主格の関係代名詞(1)			
	5月	第2章	名詞を修飾する主格の関係代名詞(2)			
		第3章	名詞を修飾する目的格の関係代名詞			
	6月	第5章	名詞を修飾する関係副詞			
7月		第6章	目的格の関係代名詞の省略			
		第8章	名詞を修飾する現在分詞			
2 学 期	9月	第9章	名詞を修飾する過去分詞			
		第12章	同格のthat節			
	10月	第13章	関係代名詞whatの名詞節			
		第14章	疑問詞による名詞節			
		第18章	比較表現			
	11月	第19章	仮定法			
第20章		so ~ that …構文				
12月	第21章	not only ~ but also …構文				
	第22章	等位接続詞の共通関係				
	第24章	分詞構文				
3 学 期	1月	第25章	付帯状況のwith			
		第26章	<S V O + to do> 構文			
	2月	第27章	<S V O + do> 構文			
		3月	第28章	<S V O C> 構文		

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースIクラス	外国語	英語表現Ⅱ	必修 3単位	増岡立晃
教科書	チアーズ「ATLANTIS English Expression」		副教材	アルク「ユメタン2」
授業のねらい	英語表現は「英単語・英文法」の2つの力を合わせて磨かれているものである。つまり、表現を磨くためには2つの力を付けることから始まり、そしてその力を運用することを到達点として授業を行う。			
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。この即座にという言葉 키워드를キーワードに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。			
評価方法	授業内試験と日常の取り組み。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson 1 - 3 Charts and Graphs	仮定法	
	5月	Lesson 4 - 6 Debate	形式修吾、形式目的語、強調構文	
	6月	Lesson 7 - 9 Writing	関係詞	
	7月	Lesson 10 - 12 Essay 1	意味上の主語、比較、分詞構文	
2 学 期	9月	Lesson 13 - 15 Essay 2	不定詞・動名詞の受け身	
	10月	Lesson 16 - 18 English Instruction Key	分詞構文の完了形、不定詞の意味上の主語	
	11月	Lesson 19 - 21 Translated Stories and Conversation	be + to do、独立分詞構文	
	12月	Lesson 22 - 24 Fluency	未来の表現	
3 学 期	1月	Lesson 25 - 27	付帯状況のwith、過去完了進行形	
	2月	Lesson 28 - 30	無生物主語、倒置	
	3月	Natural English		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	3単位	外丸由香里
教科書	啓林館「Vision Quest English Expression II Hope」		副教材	アルク「ユメタン2」		
授業のねらい	英語表現は「英単語・英文法」の2つの力を合わせて磨かれているものである。つまり、表現を磨くためには2つの力を付けることから始まり、そしてその力を運用することを到達点として授業を行う。					
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。この即座にという言葉 키워ドに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。					
評価方法	授業内試験と日常の取り組み。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Part 1 Lesson 1	主語(基礎、形式主語、無生物主語等)			
	5月	Part 2 Lesson 1	パラグラフの構成			
		Part 1 Lesson 2	語順、文系			
	6月	Part 2 Lesson 2	例示、追加			
Part 1 Lesson 3		使役動詞、知覚動詞				
2 学 期	9月	Part 2 Lesson 3	比較、対照			
		Part 3 Lesson 1	プレゼンテーション			
	10月	Part 1 Lesson 4	現在時制、過去時制			
		Part 2 Lesson 4	原因、理由、結果			
11月	Part 1 Lesson 5	助動詞、仮定法				
	Part 1 Lesson 6	修飾語、関係詞				
3 学 期	12月	Part 3 Lesson 2	ディスカッション			
		Part 1 Lesson 7	副詞(句)、副詞節			
	1月	Part 1 Lesson 8	比較			
		Part 2 Lesson 5	要点、要約			
2月	Part 3 Lesson 3	ディベート				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	3単位	藤田蒼・川鍋良信 外丸由香里・塩田志保
教科書	啓林館 「Vision Quest English Expression Ⅱ Hope」		副教材	自主プリント		
授業のねらい	英語表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Part 1 Lesson 1		主語の決定／見えない主語の発見／主語のit		
	5月	「伝統行事がいくつもあるのね。」		主語になる名詞句／形式主語／無生物主語		
	6月	Lesson 2		自動詞と他動詞／SVO／SVOO／SVC／SVOC		
	7月	「職業体験はどうだった？」				
2 学 期	9月	Lesson 3 「話したいことがあるんだ。」		使役動詞／知覚動詞／〈動詞+O+to do〉		
	10月	Lesson 4 「航空管制官として働きたいんだ。」		時制:「～する」／「～している」／「～した」／「～していた」 (現在形から完了形まで)		
	11月	Lesson 5 「そんな経験をもう一度したいわ。」		義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞 「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」		
	12月	Lesson 6 「これはカナダのバンクーバーで撮った写真なんだ。」		名詞を前から修飾する語句 名詞を後ろから修飾する関係代名詞 / 関係副詞		
3 学 期	1月	Lesson 7 「携帯電話は私たちの生活になくってはならないもの？」		副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句・副詞節		
	2月	Lesson 8 「犬と猫どっちが好き？」		原級／比較級／最上級／最上級を意味する表現		
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース1クラス		外国語	higashino special	必修	2単位	榎本赳彰・古市叡介
教科書	東野オリジナル教科書		副教材	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Lesson.11	現在完了(2)			
		Lesson.12	現在完了(3)			
	5月	Lesson.13	形容詞と副詞			
		Review	Lesson11～13			
	6月	Lesson.14	比較(1)			
		Lesson.15	比較(2)			
	7月	Lesson.16	比較(3)			
		Review	Lesson14～16			
2 学 期	9月	Lesson.17	数の表現			
		Lesson.18	不定詞(1)と動名詞			
	10月	Lesson.19	不定詞(2)			
		Review	Lesson17～19			
	11月	Lesson.20	分詞(1)			
		Lesson.21	分詞(2)			
	12月	Lesson.22	助動詞			
		Review	Lesson20～22			
3 学 期	1月	Lesson.23	過去完了と未来完了			
		Lesson.24	関係詞(1)			
	2月	Lesson.25	関係詞(2)			
		Review	Lesson23～25			
	3月	Lesson.26	副詞節			
		Lesson.27	itの表現			

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス	外国語	英検Interview Test Practice	選択 2単位	J. Safo
教科書	LINGUAL HOUSE 「Basics In Listening by Micheal Rost and Munetsugu Urano」		副教材	必要に応じてプリントを配布
授業のねらい	基本的なリスニングスキルと戦略的な解き方を身に付けさせます。			
学習上の留意点	日頃の授業態度を重視する。また授業内、家庭学習において積極的に音読をすることが大切である。			
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、中間・期末ごとに筆記試験を実施する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	導入、説明	基本説明、必要事項の記入	
	5月	基本知識 英検2次対策	手紙、名前、電話番号、住所など	
	6月	音声学、ボキャブラリー	母音と子音の発音	
	7月	音声学、ボキャブラリー	環境音、ヒューマンサウンド、サウンドシークウエンス	
2 学 期	9月	基本的な会話、質問の仕方 買い物で使うフレーズ	挨拶、自己紹介、要求、謝罪の表現	
	10月	指示 英検2次対策 模擬	イエス・ノークエスチョン 室内での指示	
	11月	復習テスト	個人に関する情報、数字、日時、場所について	
	12月	これまでの復習	復習のための映画鑑賞	
3 学 期	1月	描写	服や姿勢、体格などの描写について	
	2月	食と飲み物	買い物リスト、レシピ、レストラン	
	3月	復習テストと振り返り	描写、計画、助言、順序、選択とお勧めの仕方	

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者	
2年生 進学コースAクラス文系	外国語	英文読解入門	選択	2単位	安藤綾汰	
教科書	桐原書店「Reading Flash Stage1」		副教材	自主プリント		
授業のねらい	①英語に対する苦手意識をなくし、興味を持って積極的に英語を学ぼうとする姿勢を身につける。 ②素早く英文を読み、量の多い読解問題を解けるようになる。					
学習上の留意点	すぐに力がつくわけではないので、根気よく毎日勉強を続けること。					
評価方法	授業内のテスト、提出物で総合的に評価する					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	単元	学習目標				
1 学 期	4月	Lesson 01 Lesson 02	基本的な文法事項、単語、熟語を学習しつつ、長文読解に慣れる。 長文の内容を理解し、問題を解く方法を身につける。			
	5月	Lesson 03 Lesson 04				英語を勉強する習慣について再度確認する。
	6月	Lesson 05 Lesson 06	基本的な文法事項、単語、熟語を学習しつつ、長文読解に慣れる。 長文の内容を理解し、問題を解く方法を身につける。			
	7月	Lesson 07 Lesson 08				
	2 学 期	9月	Lesson 09 Lesson 10	長文を正確に読み解くスピードを意識して、素早く問題が解けるようになる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
		10月	Lesson 11 Lesson 12			
		11月	Lesson 13 Lesson 14	長文を正確に読み解くスピードを意識して、素早く問題が解けるようになる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
		12月	Lesson 15 Lesson 16			
3 学 期		1月	Lesson 17 Lesson 18	これまでの学習を活かして、2学期よりも素早く正確に長文を読み解き、問題を解くことが出来る。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
		2月	Lesson 19 Lesson 20			
	3月	Lesson 21 Lesson 22				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースIクラス	外国語	Communication英語Ⅲ	必修 4単位	榎本 昶彰・Kate
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅢ」		副教材	旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」 アルク「ユメタン2」
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。			
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。			
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson1 Mr. Price Meets Jakuchū	倒置と不定詞の意味上の主語	
	5月	Lesson2 Cleaning the Oceans: One Young Man's Dream	分詞構文と仮定法	
	6月	Lesson3 The Value of Practice: Ten Thousand Hours to Mastery	過去完了や省略	
	7月	Lesson4 In Defense of Zoos	前置詞＋関係代名詞, 部分否定・全否定	
2 学 期	9月	Lesson5 Facing Your Marshmallow Problem	関係代名詞whatと名詞構文	
	10月	Lesson6 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna	強調構文, 句や節を先行詞とするwhichの表現	
	11月	Lesson7 Lessons from History of Easter Island	関係副詞, 助動詞＋have＋過去分詞の表現	
	12月	Lesson8 Life Without Magic	不定詞の結果用法, 関係副詞の非制限用法	
3 学 期	1月			
	2月			
	3月			

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者	
3年生 特進コースSクラス	外国語	Communication英語Ⅲ	必修 4単位	榎本 昶彰・Safo	
教科書	数研出版「Revised BIG DIPPERⅢ」		副教材	旺文社「スクランブル BASIC」 アルク「ユメタン1」	
授業のねらい	①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②復習は音源を使って行います。読み込んだ文章を多聴、音読しましょう。				
評価方法	定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元	学習目標			
1 学 期	4月	Lesson1 The History of <i>Ekiben</i> Lesson2 Three Tips for Maintaining a Conversation	駅弁の歴史を学習することで、日本の文化や郷土を愛する心を養う。 会話を続けるコツを学習する。		
	5月	Lesson6 After the Flowers Lesson8 <i>Kintsugi</i>	生物の基本的知識を習得し、自然を尊ぶ態度を養う。 「金継ぎ」という日本の伝統技術を知り、我が国の文化を尊重する態度を養う。		
	6月	Lesson9 Alfred Nobel: A Person of Peace Lesson11 Keys to Winning	社会の発展に寄与する方法に思いを巡らせる。 準備努力を重んずる態度を養う。		
	7月	Lesson12 She Sells Seashells by the Seashore Lesson13 A New Orchestra and a New Harmony	勤労を重んずる態度を養う。 社会の発展に寄与する態度を養う。		
2 学 期	9月	Lesson17 The Shoe That Grows	アフリカの子どもの直面する問題と具体例な解決方法を読み、公共の精神に基づいて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。		
	10月	Lesson20 Endangered Languages	世界には消滅の危機にある言語が数多くあることを知り、各地域の伝統と文化を尊重する態度を養う。		
	11月	Lesson22 歴史・人権	奴隷解放や女性の地位向上のために活動したハリエット・タブマンの生涯を知り、正義と責任、人間の平等について考え、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。		
	12月	Lesson23 自然・環境	蜂群崩壊症候群が生態系に与える影響を知り、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。		
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	Communication英語Ⅲ	必修 4単位	井上直美・星雅之 外丸由香里・J.Safo
教科書	東京書籍「Power On English Comunication Ⅲ」		副教材	東京書籍「Power On English Comunication Ⅲ ワークブック」 桐原書店「Data Base 3000」 桐原書店「Data Base 3000 書いて覚える英単語ノート」	
授業のねらい	①新出単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを 実践するため、積極的・主体的に授業に参加するように。進路実現につながるよう、 英検取得に向けて授業内でも対策を行う。またData Base 3000はLevel5～Level6の単語テストを実施する。				
評価方法	定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを 総合的に加味して評価をする。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用 し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思 考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画		単元	学習目標		
1 学 期	4月	Lesson 1 Emoji as a Universal “Language”	文の主語と述語動詞の働きに着目しながら、 絵文字の使われ方について、的確に読み取 ることができる。		
	5月	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created?	パラグラフの構成と話題文、支持文、結論文の 役割に着目しながら、オリンピックの旗の意味 について、的確に読み取ることができる。		
	6月	Lesson 3 Zoo Dentists	序論、本論、結論の3部から成る文章の構成に 着目しながら、動物の歯科医が担う責任や役割 についての的確に読み取ることができる。		
	7月	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出会いの最初の4分	列挙を示すディスコースマーカーの使い方に着目 しながら、初対面の人と会話する際の最初の4分 の重要性についての的確に読み取ることができる。		
2 学 期	9月	Lesson 5 A Promising Surfer from Japan	因果関係を示すディスコースマーカーの使い方に 着目しながら、プロサーファー、大原洋人選手に ついて的確に読み取ることができる。		
	10月	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	ハロウィーンの起源と歴史について聞いたり読 んだりしたことを理解したり、要点や詳細をとら えたりすることができる。		
	11月	Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	イグ・アニベル賞を受賞した研究の内容と賞の 意義について聞いたり読んだりしたことを理解 したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。		
	12月	Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska	写真家、松本紀生さんの生き方について聞いたり 読んだりしたことを理解したり、要点や詳細をとら えたりすることができる。		
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者	
3年生 特進コースIクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	2単位	古市勲介	
教科書	チアーズ「ATLANTIS English ExpressionⅡ」		副教材	必要に応じてプリントを配布する。			
授業のねらい	①大学受験に対応しうる文法知識を身に着ける ②記述問題に対応しうる表現力をつける						
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。 この即座にという言葉キーワードに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。						
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。						
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。						
学習計画		単元		学習目標			
1 学 期	4月	lesson.1		形容詞、副詞、前置詞を用いて文を1つにつなげる			
		lesson.2		現在分詞、過去分詞を用いて文を1つにつなげる			
		5月	lesson.3		比較級 - as ~ as		
			lesson.4		最上級		
	6月	lesson.5		動名詞句			
		lesson.6		第1条件節 - if / will			
		7月	lesson.7		rather - What would you rather do?		
			lesson.8		if only		
2 学 期	9月	lesson.9		量をあらわす副詞			
		lesson.10		現在完了形 - 完了用法 / 最近の出来事			
	10月	lesson.11		現在完了形経験			
		lesson.12		現在完了形継続 for / since			
	11月	lesson.13		現在完了進行形			
		lesson.14		過去完了進行形			
	12月	lesson.15		had (I) + 過去完了形			
		lesson.16		if only (I) + 過去完了形 / too busy ~ing + 不定詞			
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	2単位	外丸由香里
教科書	啓林館「Vision Quest English Expression II Hope」		副教材	アルク「ユメタン1」「ユメタン2」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」		
授業のねらい	① 文法単元ごとの学習を通じ、語彙・文法・語法の知識を蓄える。(主に1学期) ② 問題演習を通じ、知識の抜けを確認し、解答力を高める。(主に2学期)					
学習上の留意点	① 2年次までの得意・不得意に関わらず、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般入試に向けた、「超」重要事項を毎回確認していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	年4回の定期考査、授業内の小テスト、授業態度などを総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	導入(共通テストと英文法)		文法・語法を学習する意義を理解する。		
	5月	〔既習文法単元の復習(1)〕 ① 時制 ② 準動詞 ③ 関係詞		既習単元のうち、特に重要なものを再確認する。 ① 基本時制、時制の一致、時・条件の副詞節 ② 不定詞vs.動名詞、分詞の二用法 ③ 関係代名詞vs.関係副詞、what、非制限用法		
	6月	〔既習文法単元の復習(2)〕 ④ 比較 ⑤ 仮定法 ⑥ その他重要構文		既習単元のうち、特に重要なものを再確認する。 ④ 3つの級、間違えやすい重要表現 ⑤ 基本2タイプ、ifの省略と倒置、ifのない仮定法 ⑥ 否定に関する表現、O to do vs. O do		
	7月					
2 学 期	9月	〔単元別問題演習(1)〕 ① 時制・受動態・助動詞など ② 不定詞・動名詞・分詞など ③ 関係詞・接続詞など ④ 比較、形容詞・副詞など		知識の抜けを演習形式で、補強する。 ① 動詞の「形」を意識する習慣をつける。 ② 各用法を確認し、関連表現の知識を習得する。 ③ それぞれのはたらきを再確認する。 ④ 品詞を再度意識し、注意点を整理する。		
	11月	〔単元別問題演習(2)〕 ⑤ 否定・疑問・強調・倒置		知識の抜けを演習形式で、補強する。 ⑤ 否定語の用法、語順等の注意事項を再確認する。		
	12月	〔設問形式別問題演習〕 ① 空所補充問題 ② 並べ替え問題 ③ 共通語補充問題など		全単元ランダムの問題演習で、実践力を高める。 *「何となく」を排し、「どこを見て」「どう判断するか」という解答の視点を習得する。		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	2単位	井上直美・星雅之 安藤綾汰
教科書	啓林館「Vision Quest English Expression II Hope」		副教材	啓林館「Vision Quest English Expression II Hope Workbook」 桐原書店「Future Globe 表現のための英文法・語法問題」		
授業のねらい	英語表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。また、授業内では桐原書店「Future Globe」の副教材の確認テストを実施していく。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Part2 Lesson1 Part1 Lesson5(Build-up 2)		パラグラフの構成/列挙・順序 仮定法		
	5月	Part1 Lesson6 (Future Globe 1-108)		修飾語を加える①不定詞・関係詞		
	6月	Part2 Lesson2 Part1 Lesson7		例示・追加(例を挙げたり具体的な情報を加える) 修飾語②不定詞・副詞節		
	7月	Grammar Focus 4 (Future Globe 109-219)		前置詞		
2 学 期	9月	Part2 Lesson3 Part1 Lesson8		比較・対照(2つ以上比較し相違点や類似点を述べる) 比較(原級・比較級・最上級)		
	10月	Grammar Focus 5 (Future Globe 220-318)		否定表現の使い方		
	11月	Part2 Lesson4 総復習		原因・理由・結果(理由や物事の因果関係を述べる)		
	12月	総復習 (Future Globe 319-413)				
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	英語演習	必修	3単位	古市勲介
教科書	自主教材		副教材	旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」		
授業のねらい		① 共通テストの長文に対応しうる速読力を身に着ける。 ② CEFR B1レベルの語彙を確実に身に着ける。				
学習上の留意点		① 読解中で分からなかった語彙・文法はその都度復習し定着させること。 ② 精読は意識せず、要点を掴みながら読む多読を意識すること。				
評価方法		学期末の評価テスト・授業態度で評価する。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	英文多読演習 ① 問題ごとの特徴把握 ② 修飾関係の読み取り	① データ・旅行日程の読み取りなど問題の特徴を把握し注意して 読むべきポイントを整理する。 ② 文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。			
	5月	英検対策	英検対策として、「速読」演習を授業冒頭に取り入れる。			
	6月	読解問題演習(記述式)	6月下旬に受験する進研記述模試に向けて、 ① 答えの探し方(どの表現をヒントにするか)を確認する。 ② 答えのまとめ方(字数による視点の違い)を習得する。			
	7月	読解問題演習(マーク式)	河合マーク模試や夏休みの学習に向けて、 ① 答えの探し方と選択肢の選び方を習得する。 ② 「記述式よりマーク式の方が簡単」という認識を改める。			
2 学 期	9月	過去問演習(資料読解など)	共通テスト・私大一般			
	10月	過去問演習(内容説明問題など)				
	11月	過去問演習(文法問題)	共通テスト・私大一般			
	12月	過去問演習(選択・記述問題)				
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		外国語	英語演習	必修	2単位	榎本 越彰
教科書	自主教材		副教材	アルク「ユメタン1」「ユメタン2」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」		
授業のねらい	① 英文を正確かつ速く「読む力」を身に着ける。(主に1学期) ② 問題の演習経験を蓄え、初見の問題にも動じない「解く力」を身に着ける。(主に2学期)					
学習上の留意点	① 2年次までの得意・不得意に関わらず、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般入試を突破するのに、必要な「視点」「考え方」を毎回紹介していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	学期末の評価テスト、授業内の小テスト、授業態度などを総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	導入(大学入試と英文読解) [英文精読演習] テーマ①:SVを把握する		大学入試における英文読解の比重を知り、その対策として、「読む力」と「解く力」の重要性を理解する。		
	5月	テーマ②:修飾関係を読み解く		① 主語になれるものと出来ないもの、動詞になれる形と出来ない形を整理・習得する。 ② 修飾する語句を正確に読み取り、文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。		
	6月	[読解問題演習] 英文のテーマは以下を予定 ① 文化・人間 ② 言語・コミュニケーション ③ 自然・科学 ④ 社会・経済		「読む」力を土台に、「解く」ために何が必要かを意識する。類題を想定し、背景知識・関連語彙の習得も目標とする。 ※ 6月の共通テスト模試、7月の総合学力模試を見据え、マーク式・記述式どちらの演習も行う。		
	7月					
2 学 期	9月	[読解問題演習] 英文のテーマは以下を予定 ⑤ 情報・科学技術 ⑥ 医療・健康 ⑦ 地球環境		「読む」力を土台に、「解く」ために何が必要かを意識する。類題を想定し、背景知識・関連語彙の習得も目標とする。 ※ 9月の共通テスト模試、10月の総合学力模試を見据え、マーク式・記述式どちらの演習も行う。		
	10月					
	11月	[過去問演習] 大東亜帝国～日東駒専が中心以下の設問形式を主に扱う予定 ① 空所補充問題 ② 内容一致問題 ③ 内容説明問題		受験を予定している大学の過去問を演習する中で、「解く」ことに加え、「点数を取る」ための視点を意識する。 ※ 受験者の志望状況に応じて、取り上げる問題を、変更する可能性がある。		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者			
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語演習	必修	2単位	神林慶・古市叡介			
教科書	自主教材		副教材	自主教材					
授業のねらい	英文の構造・基本的を理解し直すことで英語の理解を助めていく。 例文の暗唱等を行い、基本的な英文の構造を修得する。								
学習上の留意点	辞書を必ず持ってくること。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。								
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。								
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。								
学習計画		単元		学習目標					
1 学 期	4月	(1)平叙文・疑問文・命令文・感嘆文 (2)疑問文・命令文 (3)基本時制		様々な文の形を理解し、英文の文法的構造を理解する。 基本時制と進行形の違いの理解等。					
	5月								
	6月	(4)完了時制 (5)助動詞 (6)受動態					現在完了・過去完了と各進行形の時制の理解。 各時制での助動詞の働き。 能動態と受動態の違いの理解。		
	7月								
2 学 期	9月	(7)不定詞 (8)動名詞 (9)分詞		準動詞の理解を深める。 名詞・形容詞・副詞としての働きの理解。					
	10月								
	11月	(10)関係代名詞 (11)話法					形容詞節の理解、限定用法・非制限用法の理解。 時制の理解を深める(時制の一致)。		
	12月								
3 学 期	1月								
	2月								
	3月								

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コース1クラス		外国語	higashino special	必修	2単位	榎本赳彰・古市叡介
教科書	東野オリジナル教科書		副教材	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	Lesson.28 Lesson.29	名詞節 仮定法(1)			
	5月	Lesson.30 Review	仮定法(2) Lesson28～30			
	6月	Lesson.31 Lesson.32	仮定法現在 代名詞			
	7月	Lesson.33 Review	否定 Lesson31～33			
2 学 期	9月	Lesson.34 Lesson.35	強調 語順			
	10月	Lesson.36 Review	さまざまな日常表現(1) Lesson34～36			
	11月	Lesson.37 Lesson.38	さまざまな日常表現(2) さまざまな日常表現(3)			
	12月	Lesson.39.40 Review	さまざまな日常表現(4)(5) Lesson37～40			
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースIクラス	外国語	時事英語	必修 1単位	ティファニー
教科書	自主教材(英字新聞などのコピーを使用予定)		副教材	必要に応じてプリントを配布する。
授業のねらい	英字新聞などの資料に慣れ親しみ、それらの読解のノウハウの習得を目指す。また、現在の社会で起こっている様々なことに興味・関心を持ったうえで、メディア・リテラシーを身に付ける。			
学習上の留意点	日本語の背景知識および基本的な政治・経済・歴史の知識の増強も同時に各人で進めること。また、家庭学習において音読、リスニング、問題演習などの予習・復習は必須となる。			
評価方法	授業内テストを期末に1回(または学期に2回)実施する。また、提出物や授業への取り組みも平常点として加味する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	英字新聞の特徴について	英字新聞特有の表記方法などについて解説する。Headline、Lead、Body(本文)などの構成および読解の際の注意点などについて学ぶ。	
	5月	健康 文化 / 考査	テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 ニュースソース(情報源)について学ぶ	
	6月	科学技術 医療	テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 COVID-19を中心に最新の医療について知る	
	7月	観光 考査	オリンピックなどインバウンドや観光立国としての戦略について学ぶ	
2 学 期	9月	交通 経済	テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 基本的な経済の仕組みやマネーの知識を学ぶ	
	10月	宇宙 スポーツ / 考査	宇宙開発の最先端事情について学ぶ	
	11月	政治 歴史 I	テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 米中対立とその影響等について学ぶ	
	12月	歴史 II 考査	自分たちのルールを知る大切さについて学ぶ	
3 学 期	1月			
	2月			
	3月			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	受験英語	選択	2単位	榎本 昶彰
教科書	自主教材		副教材	旺文社「スクランブル BASIC」 アルク「ユメタン1」		
授業のねらい	大学入試に向けて中堅私立大学の過去問題を解くのに必要な「速読力」を身につける/話せる英語を目標に音読の練習を行う					
学習上の留意点	毎回の授業に向けて予習復習を必ず行うこと					
評価方法	授業内テスト及び提出物にて総合的に判断する					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	オリエンテーション	授業の目的、内容を説明			
	5月	速読の基礎を学ぶ	一学期をかけて速読の基礎を学ぶ。			
	6月	トレーニング	副教材を用いてのトレーニング。			
	7月	速読を入試に活かす	学んだ速読を試験にどう使うかを学ぶ。			
2 学 期	9月	問題演習	共通テスト等の基礎的な文章を用いて実践的に点数に結びつけるための演習を行う			
	10月	問題演習	二学期前半は大問毎に問題を解いていく			
	11月	入試問題演習	私立大学の過去問題を用いて問題演習を行う			
	12月	入試問題演習	扱うのは日東駒専レベルの過去問とし、合格点を目標とする			
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	学び直しの英語Ⅲ	選択	2単位	星雅之
教科書	学研プラス「高校英文法をひとつひとつわかりやすく。」		副教材	自主プリント		
授業のねらい	中学校および高校で学習した基本的な文法を復習し、英文の基本的構造を理解する。比較的平易な英文を遠し、基礎的な読解力・表現力を養う。					
学習上の留意点	辞書を必ず持ってくること。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	オリエンテーション 英語の基本ルール		英語の基本学習作法について学ぶ 中学校英語の総復習		
	5月	01～05 5文型		基本5文型について学ぶ (自・他動詞、目的語、補語など)		
	6月	06～17 時制		現在・過去・未来・完了・進行形について学ぶ		
	7月	18～23 態・助動詞		能動態と受動態、助動詞の用法について学ぶ		
2 学 期	9月	24～30 不定詞・動名詞		不定詞と動名詞の用法について学ぶ		
	10月	31～38 分詞・仮定法		現在分詞・過去分詞および仮定法について学ぶ		
	11月	39～49 比較・関係詞		比較の原級・比較級・最上級 および関係詞の用法について学ぶ		
	12月	50～55 接続詞・その他		名詞および副詞のかたまりをつくる接続詞について学ぶ		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英文読解	選択	2単位	関京太
教科書	自主教材		副教材	必要に応じてプリントを配布		
授業のねらい	文法項目を確認し最初は比較的短い長文読解を中心としながら、簡単な英文の速読を訓練していきます。その後、300語程度の長文の精読を通して英語力を高めます。					
学習上の留意点	辞書を用意すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、中間・期末ごとに筆記試験を実施する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	オリエンテーション	授業の目的、内容を説明			
	5月	文法の基礎を学ぶ	一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。			
	6月	文法の基礎を学ぶ	一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。			
	7月	文法の基礎を学ぶ	一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。			
2 学 期	9月	問題演習	比較的短い長文を用いての読解トレーニング。			
	10月	問題演習	比較的短い長文を用いての読解トレーニング。			
	11月	問題演習	300語程度の長文を用いての読解トレーニング。			
	12月	問題演習	300語程度の長文を用いての読解トレーニング。			
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語入試対策	選択	2単位	川鍋良信
教科書	いわずな書店「新演習950」文法を体系的に身に着ける例題209		副教材	各大学赤本		
授業のねらい	中学英語の定着および以下の5つのスキル向上をねらいとする:①読解力 ②リスニング力 ③表現力 ④英語の論理展開 ⑤世界に関する関心を深める					
学習上の留意点	問題の解き直し、文法参考書・辞書(必須)を読み込むなど自学自習の姿勢が必須					
評価方法	小テスト、授業内テスト、日頃の授業への取り組みを総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	オリエンテーション 英単語・熟語		基本的な英語学習の作法について学ぶ 英単語・熟語を徹底的に反復		
	5月	英文法演習 英検対策		一般入試に耐えうる英語力の土台を作る。		
	6月	英文法演習 平易な長文の読解		初見の問題を、自分で読み解く力をつける。		
	7月	長文を含む総合問題				
2 学 期	9月	長文を含む総合問題 英検対策		演習を通して、単語や熟語の抜けを補強する。 実践力をつける。		
	10月	模擬試験の過去問		演習を通して、単語や熟語の抜けを補強する。 実践力をつける。		
	11月	帝京総合型の学科				
	12月	私大の過去問				
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス	外国語	文法・語彙講座Ⅲ	選択	2単位	松浦隆
教科書	増進堂「マスターノート」		副教材	三省堂「クラウン チャンクで英単語 Basic」	
授業のねらい	入試(総合型・推薦等)で出題されそうな問題(英検3級～2級程度)に対応出来る力を養う				
学習上の留意点	文法参考書・辞書(必須)を読み込むなど自学自習の姿勢が必須				
評価方法	小テスト、学期ごと定期テスト、出欠席および日頃の授業への取り組み				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元	学習目標			
1 学 期	4月	文法: マスターノート 単元 1～9 語彙: チャンク Level 0	現在形(be動詞、一般動詞)、助動詞 中学基礎単語の復習		
	5月	文法: マスターノート 単元 10～17 語彙: チャンク Level 1 step1-4	疑問文、命令文、過去形(be動詞、一般動詞)、進行形 中学必修単語の復習		
	6月	文法: マスターノート 単元 18～24 語彙: チャンク Level 1 step 5-8	比較、現在完了、5文型 中学必修単語の復習		
	7月	文法: マスターノート 単元 25～30 語彙: チャンク Level 2 step 9-12	受動態、準動詞、接続詞 高校基礎単語の復習		
2 学 期	9月	文法: マスターノート 単元 31～34 語彙: チャンク Level 2 step 13-15	関係代名詞 高校基礎単語の復習		
	10月	文法: マスターノート 単元 35～39 語彙: チャンク 多義語、イディオム	句、節を指すit、過去完了、関係副詞、仮定法、分詞構文 多義語、イディオム		
	11月	文法復習	既習事項の復習		
	12月				
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				